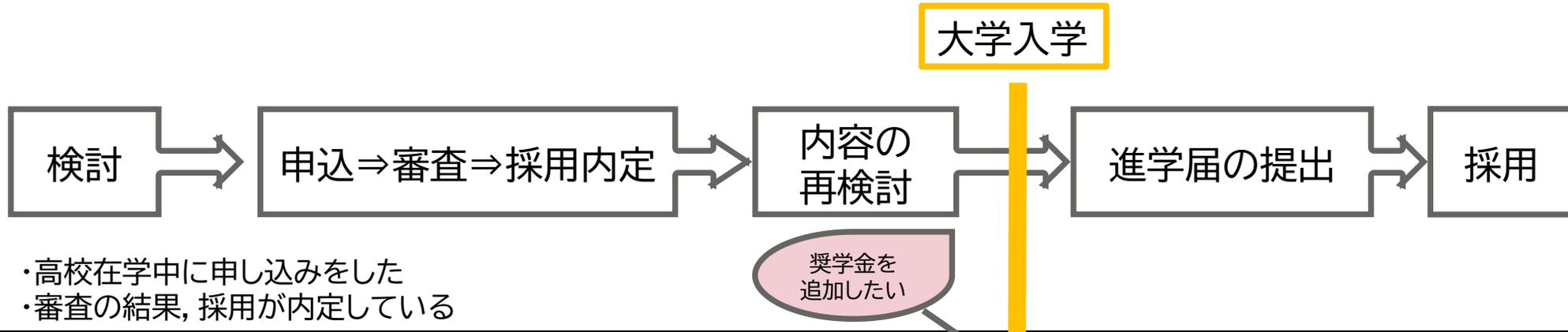


日本学生支援機構 奨学金について

本日の説明では, 進学後の手続きの概要をお示しします。
手続きの詳細について踏み込んでお話しする時間がないので, 個別
の具体的なご相談につきましては, 改めてお問い合わせください。

進学後の手続きには2種類あります

①予約採用(採用候補者) の申込から採用までの流れ



②在学採用(新規・追加)申込者 の申込から採用までの流れ



①採用候補者の手続き

高校在学時に申し込みをして審査を受け、
奨学金の採用が**内定している**方の手続き

採用候補者の進学前準備

- 採用候補者には、「採用候補者のしおり」「進学前準備チェックシート」などの資料が配布されています。
- 資料をよく読みながら、採用候補者となった奨学金の内容を再検討し、最終的な申込内容を決定してください。
- 進学前準備シートに、進学後に利用する奨学金の最終的な申込内容を書き出しておいてください。

進学前準備チェックシート

＜採用候補者決定通知の記載内容を確認し、検討した結果を「検討後の内容」欄に記入＞

注：「併用貸与」の候補者に決定した人は、「2-1. 第一種奨学金」と「2-2. 第二種奨学金」の両方について、確認と検討を行ってください。

項目	決定通知の記載内容 (まずは決定内容を確認)	検討後の内容 (検討した結果を記入)	備考
1. 給付奨学金	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「－」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4 ページ【A】の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない —	給付のみ利用する (貸与は利用しない) →5. へ
2-1. 第一種奨学金 (無利子)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「－」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4 ページ【A】の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない —	貸与について、第二種奨学金のみ利用する →2-2. へ
2-1-1. 貸与額	<input type="checkbox"/> 最高月額の利用「可」 <input type="checkbox"/> 最高月額の利用「不可」	<input type="checkbox"/> 最高月額 <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額 (____ 円) <input type="checkbox"/> 最高月額以外の月額 (____ 円)	※ 給付を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与される月額が制限されます。
2-1-2. 返還方式	<input type="checkbox"/> 定額返還方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返還方式	<input type="checkbox"/> 定額返還方式 <input type="checkbox"/> 所得連動返還方式 (2-1-3.は機関保証のみ選択可)	
2-1-3. 保証制度	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証	<input type="checkbox"/> 機関保証 <input type="checkbox"/> 人的保証 (2-1-2. で「定額返還方式」を選択した人) <input type="checkbox"/> 機関保証 (人的保証は選択できません) (2-1-2. で「所得連動返還方式」を選択した人)	
2-2. 第二種奨学金 (有利子)	<input type="checkbox"/> 「候補者決定」 <input type="checkbox"/> 「不採用」、「－」	<input type="checkbox"/> 利用する ※4 ページ【A】の書類が必要 <input type="checkbox"/> 利用しない —	貸与について、第一種奨学金のみ利用する →3. へ
2-2-1. 貸与額	<input type="checkbox"/> ____ 万円	<input type="checkbox"/> ____ 万円 (2~12万円の中から1万円単位) <input type="checkbox"/> 14万円 (私立大学の薬学部・獣医学部のみ) <input type="checkbox"/> 16万円 (私立大学の医学部・歯学部のみ) (2-1-2. で「定額返還方式」を選択した人) <input type="checkbox"/> 2-1-3.で選択した保証制度 (2-1-2. で「所得連動返還方式」を選択した人)	※ 第一種奨学金の保証制度と同一となります。

資料は手元にあり、進学まで数カ月の時間があります。しっかり準備してください。

採用候補者の進学後手続き ①

- 「採用候補者説明会」に出席してください。資料を配布し、「**進学届の提出**(奨学生の身分を確定させる手続き)」について説明します。
- 説明会日程： 2023年4月5日(水)13:30からを予定(出席できない方には個別対応します)

	2022年度の 進学届受付期間	入金開始
①	～4月 7日	4月
②	～4月21日	5月
③	～5月23日	6月
④	～6月22日	7月

※この日程は2022年度実績です。2023年度の予定はまだ発表されていません。

4月から奨学金を受け取るための申請期間は、進学後のほんの数日しかないことがほとんどです。5月から奨学金を受け取るにも、進学後の約2週間のうちに手続きを済ませなければなりません。



入学前に申込内容を検討し、必要書類について確認しておかないと、希望する受付期間での手続きに間に合わなくなる恐れがあります。

奨学金を早く受け取りたい方は、入学前の準備が必須です

採用候補者の進学後手続き ②

- 「採用候補者説明会」で、「進学届下書き準備用紙」を配布します。
- 最終的な申込内容を「進学届下書き準備用紙」に記入します。
- 大学に提出して内容のチェックを受け、必要なIDとパスワードを受け取ります。
- インターネットから学生自身が「進学届」を入力・送信します。

	2022年度の 進学届受付期間	入金開始
①	～4月 7日	4月
②	～4月21日	5月
③	～5月23日	6月
④	～6月22日	7月

※この日程は2022年度実績です。2023年度の予定はまだ発表されていません。

手続きは「準備用紙を受け取る」「申請内容を記入する」「チェックを受ける」「入力する」という手順です。



2022年度は、4月から奨学金を受け取るには「準備用紙」を4/5に受け取り、4/7までに入力を済ませる必要がありました。



希望する入金開始月にあわせ、受付期間内に「進学届」の提出が完了できるように、事前の準備をお願いします。

給付奨学金の注意点

- 給付奨学金と貸与第一種奨学金の併給調整
- 「自宅外通学証明書」の提出について

給付奨学金と第一種奨学金の併給調整

- 給付奨学金と貸与第一種奨学金を同時に利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が調整されます(ほとんどの場合で減額されます)

調整の例	給付奨学金		第一種奨学金		調整前の第一種奨学金	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
支援区分Ⅰ	38300	75800	0	0	← 最高月額 54000	← 最高月額 64000
支援区分Ⅱ	25600	50600	0	0		
支援区分Ⅲ	12800	25300	21700	19200		

例えば「給付で75800円、第一種で64000円、合計で約14万円を利用する」ことはできません。



調整のために利用額が不足する場合は、進学後に第二種奨学金を新規申込みすることができます。

「併給調整」については、『給付奨学生 採用候補者のしおり』11ページに説明があります

給付奨学金の自宅外通学証明

- 給付奨学金は通学形態によって受給金額が異なりますが、最初は全員が「自宅通学」として採用され、**自宅通学の金額**で受給が開始します(『給付奨学生 採用候補者のしおり』 p.10)
- **自宅外通学の証明書を提出し承認**されると通学形態が「自宅外通学」へ変更され、受給金額も自宅外通学の金額へ変更されます。

	自宅通学	自宅外通学
支援区分Ⅰ	38300	75800
支援区分Ⅱ	25600	50600
支援区分Ⅲ	12800	25300

従来は進学後にしか通学形態の変更ができず、自宅外通学生であっても自宅外通学の金額を受け取るまでに時間がかかりました。



来年度からは進学前に自宅外通学の証明書を提出することができるようになる見込みで、進学前に書類を提出し審査が終われば、最初から自宅外通学の金額を受け取れる可能性があります。



2023年2月下旬ごろ、大学ホームページに詳細を掲載します。

貸与奨学金の注意点

- 「連帯保証人」「保証人」の**選任条件** (貸与奨学金人的保証)
- 「**入学時特別増額貸与奨学金**」について

「連帯保証人」「保証人」の選任条件

貸与奨学金の保証制度で人的保証を選択する場合、連帯保証人等の「選任条件」をよく確認してください。

連帯保証人…原則として「父または母」

保証人 …原則として「父母以外で、65歳未満で、4親等以内の親族」

※例外規定はありますが、「**代替要件**」が追加されます。



「連帯保証人は父、保証人は母」という間違いが多いので、ご注意ください。

「保証人」には、確実に引き受けてくださる方を選任してください。

「保証人」に原則以外の人物を選任する場合は、「**代替要件**」をよく確認しておいてください。

『貸与奨学生 採用候補者のしおり』 14ページに説明があります

「入学時特別増額貸与奨学金」について

「国の教育ローン」の申込の必要・不要をよく確認してください。

高校在学時に入学時特別増額貸与奨学金を「希望する」として申し込んだ場合、採用候補者決定通知には「日本政策金融公庫の『国の教育ローン』の申込について「必要・不要」の記載があります。



『貸与奨学生 採用候補者のしおり』16ページに詳細なチャートがあります。必ず確認しておいてください。



『国の教育ローン』の申込が「必要」とある場合でこの増額貸与奨学金の利用を希望される方は、まず日本政策金融公庫へ『国の教育ローン』を申し込み、その結果をもって奨学金の手続きをする必要があります。つまり『国の教育ローン』の申込結果が出るまでは、奨学金の手続きができません。

入学時特別増額 貸与奨学金
希望する



入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込： 不要
一時金500,000円
定額返還方式
人的保証
利率見直し方式

②新規・追加の申込 (在学採用)

高校在学時に申し込みをしておらず進学して初めて申し込む方
高校在学時に内定を受けた奨学金に追加して奨学金を申し込む方

新規・追加の申込手続き

進学後の「**在学採用説明会**」で資料を配布し、奨学金制度や申込手続きについて説明します。

説明会日程: 2023年4月中旬予定

本日時点でまだ「2023年度在学者用 奨学金案内」は公表されていません。



支援機構は制度変更等について例年2月に発表します。まだ制度変更の可能性がありますので、現時点で来年の申込手続きについて説明することができません。



本学からは、2022年度の奨学生案内を参考資料としてお配りできます。また、インターネットで【日本学生支援機構 奨学金案内】で検索すると、PDFファイルの【奨学金案内】がダウンロードできます。

制度変更の可能性がありますので、2022年度版は参考資料としてご覧ください

新規・追加の申込手続き日程

進学後に新規・追加で申し込みをされる方も、進学後に速やかな奨学金の受け取りを希望される場合は、できる限り事前の検討をしておいてください。

2022年度 在学採用申込期間

申込区分	手続き締め切り日	採用月 (入金開始)
第1回	4月30日	6月
第2回	5月31日	7月
第3回	6月30日	8月

※2023年度の日程はまだ発表されていません

在学採用では例年、奨学金の受け取り開始が最も早くても6月になる見込みです。



進学後できる限り早くから奨学金を利用したいという方は、事前にある程度の検討をしておいてください。

本日の説明のまとめ

- 進学後の説明会に出席し, 説明をきいて手続きをすれば心配はありません。
- ただし, 進学後は速やかに奨学金の受け取りを開始したいという方は, 進学前にできる限りの検討をしておいてください。

進学後の手続きについてご不明な点がありましたら, お問い合わせください。
2023年度の奨学金制度について確定的にお話しすることはできませんが, 2022年度までの制度に基づいて, ご相談にお答えします。

九州保健福祉大学 学生課 0982-23-5576 担当:吉野